



2学年通信「一期一会」NO. 7

令和2年12月23日
広島皆実高等学校2学年会

波乱に満ちた年が終わろうとしています。1年前には考えてもみなかった「日常」を過ごしているけれど、新しい「日常」に慣れていない自分の心とカラダがあって、時々胸が軋んだりしますよね。それでも、生活をともにする皆さんとの日々は、どんなにクサクサした時でも笑顔になること間違いなしでした。一緒に歩いてくれてありがとう！

今回は二学期後半を振り返ります。

1. ナイチンゲール誓詞を胸に刻んで歩む。

10月27日火曜日に、今年の継灯式は行われました。毎年、衛生看護科の2年生がこの節目の儀式を終えると、どこか厳かなたたずまいを見せてくれるのは、それだけこの式の重みを衛生看護科の皆さんは感じているし、本格的に始まる臨地実習への覚悟があるからだと思っています。

今年の継灯式は、新型コロナウイルスの対策を最大限優先しての開催でしたが、2Hの皆さんの凜とした表情がとても印象的でした。

私は、中学生の時に怪我で受診した病院の看護師の方との出会いをきっかけに看護師になりたいと思いました。私が痛みや治療に対して本当に治るのかととても不安な気持ちでいるときに、その看護師の方は私の話を笑顔でうなずきながら聞いてくださいました。その看護師の方のおかげで私は痛みや治療に対する不安が和らぎ、安心して治療を受けることができました。この経験から、看護師の患者さんに寄り添った声掛けが患者さんの気持ちを前向きにし、闘病意欲を高めることができると感じ、私もその看護師さんのようになりたいと強く感じました。

この先、看護の厳しさや難しさを感じることもあるかもしれませんが。そのような時には、本日誓った理想の看護師像を思い起こし、まっすぐ目標に向かって一步一步、歩いていきます。

これから始まる看護臨地実習では、どんな時でも患者さんのことを一番に考え、患者さん一人一人の状況にあった看護を行うための看護の基礎を丁寧に学び、専門知識を高めていきます。看護技術も何度も練習し、患者さんに提供できるように技術を磨きます。看護を学ぶ生徒としての責任と自覚を持ち、本日述べた看護の誓いを胸に40人全員で支え合い高めていきます。

(代表挨拶 前田 絢子 一部抜粋)



2. 先輩から受け継いだ体育科魂を燃やそう!

9月に行われた運動会での体育科「集団行動」は見事でした。それは、体育科の先輩から後輩に受け継がれていく伝統だと思います。10月28日(水)、その伝統をひっさげて、我々が1Hが宇品中学校で出前「集団行動」を行いました。

体育科の皆さんは、もちろん競技においては日々研鑽を積んでいますが、「集団行動」を見ず知らずの中学生に指導するのは大変だったのではないのでしょうか。「自分ができること」と「相手がわかるように教えること」とは大違いだからです。でも、今回の経験があるからこそ、来年の運動会につながるのです。今後の1Hに注目です!



私達、体育科は宇品中学校1年生に集団行動を教えるために宇品中学校に行きました。

前日まで、集団行動をちゃんと教えることができるか、魅力が伝わるか不安でした。

しかし、中学生はしっかり話を聞いてくれて、短い時間ではありましたが、難易度の高い内容まで教えることができました。今回の「人に指導する」という経験をこれからの競技生活や将来に活かしていきたいと思います。

(指揮者: 猪原 太一)

3. 「進路」は受験校を決めることでなく、生き方を考えること。

12月5日(土)はPTA進路研修会でした。

密にならないように第1体育館で行いました。換気を行いつつの研修会でしたから、ジェットヒーターを使用したとはいえ、とても寒かったのではないのでしょうか。参加していただいた御家族の皆様、ありがとうございました。

講演は、北九州予備校の阿南覚先生から、受験生になるために必要なこと、気をつけることなど、幅広いお話をいただきました。



どんな状況でも時間は刻々進んでいきます。体育科、普通科の皆さんは、3年生になるまでに、総合的な探究の時間で「志望理由書」を書き上げる予定です。「考えてないよ」とぼやくのではなく、ぐいぐい調べて自分の道を切り開きましょう。

4. 自らの課題を探究するために必要なことは何だろう。

体育・普通科では二学期に課題研究を行いました。時間がない中、手探り状態での研究でしたが、それぞれの班で力を合わせて発表を行い、代表を選びました。

12月15日（火）LHRの時間には、看護科も含めて、代表8チームのVTRプレゼンテーションを視聴しました。

代表に選ばれたのは、①体育B1班「質の高い教育に体罰は必要か？」②文型A1班「自分たちの寄付でどれくらいの人を救えるのか」③文型C1班「地域の教育格差をなくすためには」④文型E2班「どうすれば災害から身を守るのか」⑤理型B4班「離島できちんとした医療を」⑥理型C6班「コロナ流行下で、コミュニケーションと感染予防を両立するためには」⑦理型F5班「ダンゴムシで貧困で困っている人を救う」⑧看護「その手で食べて大丈夫？」です。

皆さんの投票により、**1位 理型C6班**
2位 文型A1班
3位 看護

という結果になりました。

皆さんの評価が高いプレゼンテーションは、①なぜその課題を探究したいのか明確で、②自分たちの仮説に基づいて実験や統計が具体的に挙げられ、③その話題について知らない人にもわかるように工夫できている、④成果と課題が次につながる提起であるということにおいて共通していました。

この研究はまだまだ「きっかけ」です。「自分が疑問に思ったこと」について、いろいろな「情報を収集」して、自分自身の「考察を深める」営みは、今から皆さんが生きていく、波瀾万丈で何が起こるか分からない時代において重要になってくると思います。10年後、今回探究したテーマを追いかけている人がいたとしたら、私たち2学年の教員はうれしくて仕方ないと思います。



5. 3学期は3年生になる前に自分を充実させる季節

新年がやってきます。「今年は何もできなかった」と思っている人がいるかもしれませんが、実はこんなにいろいろなことをやっているのだな、と感じています。今回は全く触れていませんが、この冬休み中に部活動の大きな試合を予定している男女バスケットボール部、男子サッカー部の皆さんは、その日に備え日々鍛錬に励んでいますよね。他の部活動の皆さんも次の目標に向かって動いています。

染織の世界で人間国宝になっている志村ふくみさんは、花が咲く直前の桜の木の皮を原料として美しい桜色の染め物を生み出します。桜の美しい色はあの美しい桜の花びらにあるのだと思っていた私は、そのことを知って驚きました。桜色は、花が咲く前の木の皮に凝縮しているのです。寒い冬、希望が見えない季節だからといって、じっとしているだけでは心もカラダも充実してこないのではないのでしょうか。春が巡ってくる前に、準備を整えましょう。自分の皮膚の下に美しい力をためましょう。この状況下で、トンネルに入ってしまって先が見えないと思っている人もいるかもしれません。でも、「明けない夜」はありません。そんなときは、休憩とご飯、そして誰かとおしゃべりするのも良いですよ。それは、隣にいるあの子かもしれません。私たち教員にちょっと話してくれても、また違う視点からの話ができるかもしれません。いつでも待っています。

現在一番悩ましいのが修学旅行の計画です。体育科スキー研修旅行（北海道）は2月8日（月）～13日（土）。衛生看護・普通科修学旅行（京都府）は2月12日（金）～14日（日）。刻々状況が変わっていくので、直前までそれぞれ検討を重ねていきます。皆さんには心配をかけますが、その都度状況をプリント等でお知らせしますので、御家庭で冬休みにお話をしてください。

6. 今後の日程

- 12月23日（水） 終業式
- 1月7日（木） 始業式 課題テスト
- 1月16日（土）17日（日） 大学入学共通テスト
- 1月23日（土） 看護科クオリス模試 普通科進研記述模試

看護棟の前にとっても美しい木があります。
私は勝手に「看護科の樹」と呼んでいます。
冬の凍える朝にも、気高くそびえています。
そして落葉し、また春に芽吹く日を待ちます。

冬よ
僕に來い、僕に來い
僕は冬の力、冬は僕の餌食だ

と詠ったのは高村光太郎です。
私たちも、この冬を乗り越えましょう。

